

Vol. 19

2023.4.1

▽
2024.3.31

株主通信 | 株式会社KADOKAWA

CHALLENGE

新しい挑戦、そして成長市場へ



▶ 01 社長メッセージ



▶ 06 特集

2024春～秋 注目ラインアップ (出版・映像)



▶ 08 トピックス

- ▷ 出版・IP創出セグメントでのさらなる海外事業拡大に向けた海外拠点の拡充
- ▷ 制作力強化とクオリティ向上を目指し、アニメーション制作スタジオ「ベルノックスフィルムズ」設立
- ▷ 世界的大ヒットを記録した『ELDEN RING』のダウンロードコンテンツ『SHADOW OF THE ERDTREE』が6月21日に世界同時発売
- ▷ ゲームIPの創出力強化を目指し、新たにアクワイア社を子会社化
- ▷ 『ニコニコ超会議2024』来場者数12万人超、1,100組超のクリエイターが多彩なパフォーマンスを披露
- ▷ N/S高・N中等部に新入生約10,000名が入学、「AI入学式」を実施
- ▷ バンタン新スクール「KADOKAWAアニメ・声優アカデミー」「KADOKAWAマンガアカデミー」開校



▶ 15 連結財務諸表(要旨)

▶ 16 セグメント別 売上高・営業利益

▶ 17 取締役一覧／株式の状況



KADOKAWA

システム障害に関するご報告とお詫び

2024年6月現在発生している当社グループのシステム障害により、株主の皆様をはじめ、関係する全ての方々に多大なるご不便とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

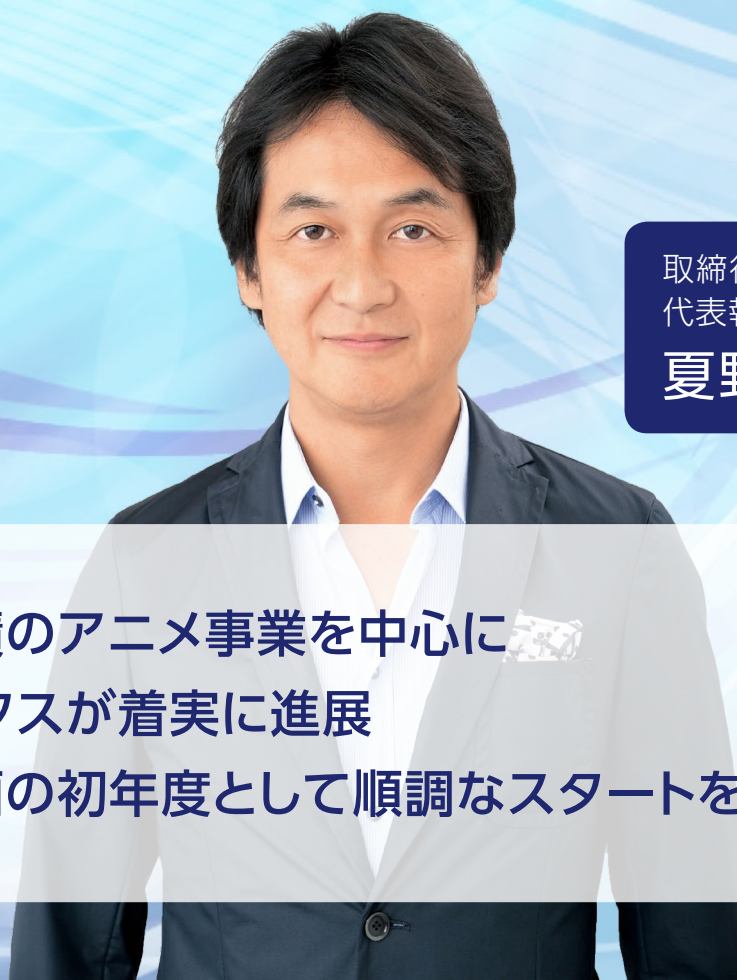
2024年6月8日、「ニコニコ」を中心としたサービス群を標的として、当社グループデータセンター内のサーバーがランサムウェアを含む大規模なサイバー攻撃を受けました。被害の拡大を防ぎデータを保全するため、直ちに同データセンター内のサーバーをシャットダウンするなどの緊急措置を講じた結果、当社グループ内の複数のウェブサイトや、事業活動や経理機能を管理する基幹システムの一部の機能が停止しております。

本事案による当社業績への影響については、鋭意精査中でございます。引き続き影響範囲および影響規模の把握に尽力し、適時適切にお伝えしてまいります。

今後、システム復旧に向けて、影響を受けている全ての事業および業務の速やかな機能回復を図ってまいります。引き続き一日も早い復旧を目指して、当社グループ一丸となり、全力を尽くしてシステムおよび事業活動の正常化に向けて取り組んでまいります。

株主の皆様をはじめ、関係する全ての方々に多大なご不便とご迷惑をおかけしておりますことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

株式会社KADOKAWA
取締役 代表執行役社長 CEO
夏野 剛



取締役
代表執行役社長 CEO
夏野 剛

過去最高業績のアニメ事業を中心に
メディアミックスが着実に進展
中期経営計画の初年度として順調なスタートを切る

2024年3月期通期連結実績

|||||

2024年3月期の通期連結実績は、売上高2,581億9百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益184億54百万円(前年同期比28.8%減)、経常利益202億36百万円(前年同期比24.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益113億84百万円(前年同期比10.2%減)となりました。前期に大きく業績貢献したゲームセグメントの影響や米国出版事業における過去数年間

の需要急増からの反動などにより全体として減益となったものの、過去最高業績を達成したアニメ事業や、堅調な生徒数増加を背景とした教育・EdTechセグメントの成長がグループ全体をけん引し増収となりました。

- 出版・IP創出セグメントでは、引き続き新規IP数が増加しました。売上高は、国内外紙書籍の減収を電子書籍やライセンス収入の堅調な成長が吸収し、セグメント全体とし

● 教育・EdTechセグメントでは、展開地域の拡大などにより生徒数の増加が継続しており、売上高も安定的に成長しました。利益面では、2024年4月開校の新スクールにおける生徒獲得のために㈱バンタンで広告

● その他セグメントにおいては、メディアミックスの一端を担うMD事業の成長を中心として増収となりました。利益面では、施設運営事業における一部事業撤退やコスト適正化の効果が発現し、セグメント全体として赤字が改善しています。

[illegible]

出版・IP創出セグメントにおける2023年以降の海外5拠点の新設や2024年3月期の新規出版IP数5,900点到達をはじめ、アニメにおける自社制作スタジオ拡大による制作力強化、教育・EdTechセグメントにおける着実な生徒数増加を含め、各重点施策は順調に進捗しています。

■ 中期経営計画達成に向けた成長ストーリー

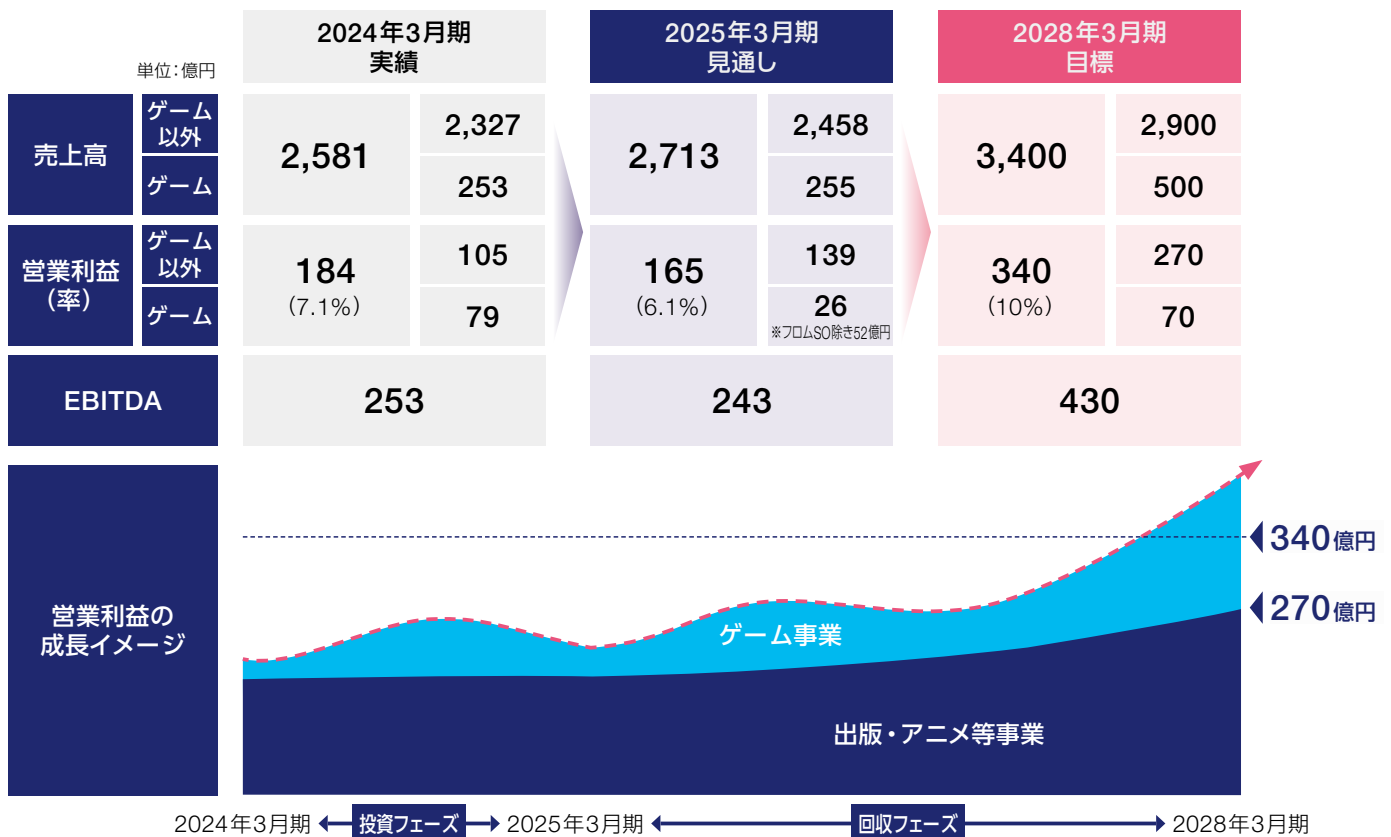


2025年3月期通期連結業績見通し

本中期経営計画の2年目となる2025年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、

連結全体で売上高2,713億円、営業利益165億円、経常利益186億円、親会社株主に帰属する当期純利益134億円を見込んでいます。

■ 中期経営計画 経営目標



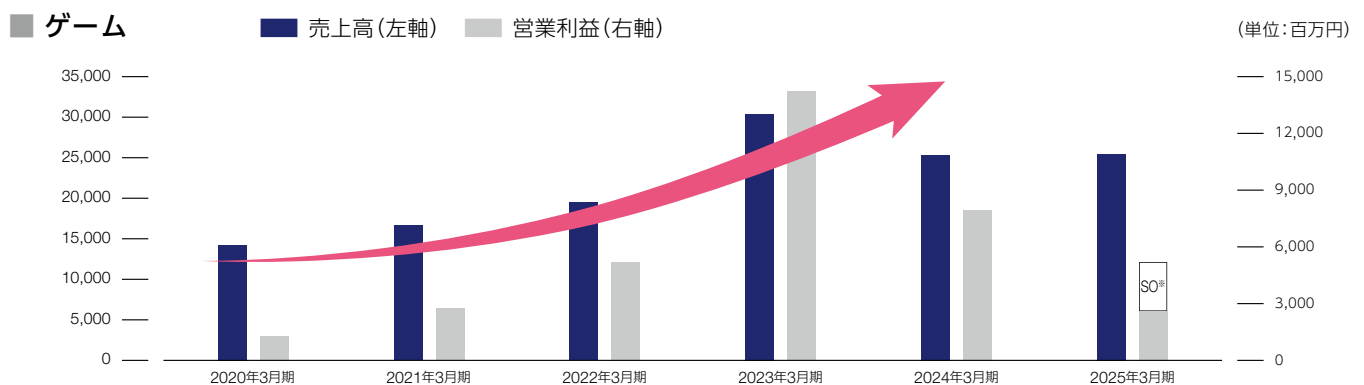
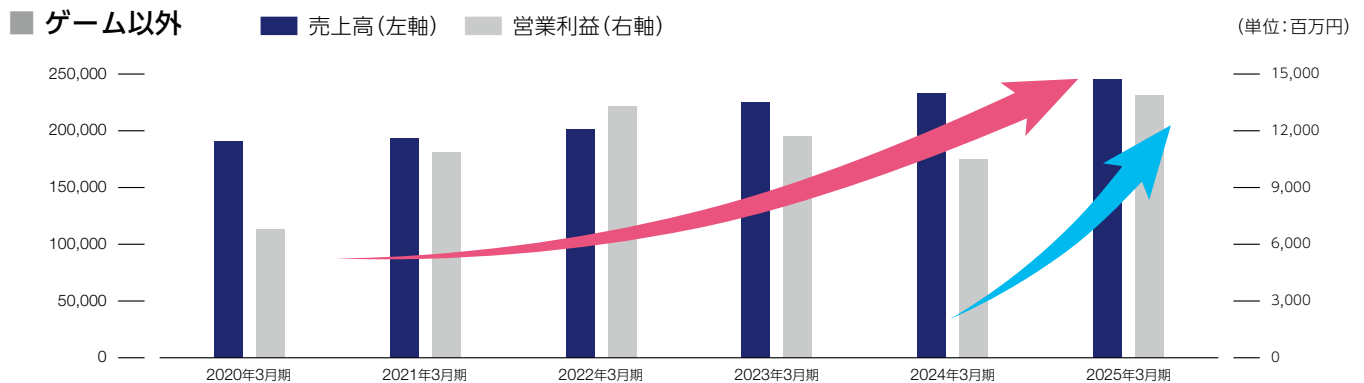
▷ 安定的な業績成長を目指す「ゲーム以外の事業」の合計では増収増益(売上高: +5.6%、営業利益+32.3%)

IP創出力の強化やメディアミックスの推進により実現してきた増収トレンドの継続を想定しています。また利益面では、コロナ禍の影響も含む需要増の反動により過去2年間で減益トレンドにあった出版・IP創出セグメントの回復に加え、Webサービスセグメント、教育・EdTechセグメント、その他セグメントでも利益が改善し、ゲーム以外の事業の合計で成長フェーズへの回帰を見込んでいます。

▷ 業績変動の大きい「ゲーム事業」では増収減益(売上高: +0.6%、営業利益: ▲67.3%)

(株)フロム・ソフトウェアのゲームIPの世界的な評価向上を中心として急成長を遂げてきたゲームセグメントでは、同社でストック・オプション費用計上を織り込んでいることもありセグメントとして減益の計画ですが、大ヒット作品『ELDEN RING』のDLC『SHADOW OF THE ERDTREE』(2024年6月発売)のヒットや過去作の売り伸ばしにより、計画値を超える業績達成を目指します。

社長メッセージ



※2025年3期はフロム・ソフトウェアにおいてストック・オプション費用を26億円計上

KADOKAWAグループは、コーポレートミッション「世界の才能と、感動をつなぐ、クリエイティブプラットフォームへ」を掲げ、世界中の才能を発掘し、その価値を最大限に高め、生み出されるIPをテクノロジーの力で世界中のユーザーに届けてまいります。また集まったノウハウと、クリエイティブ、テク

ノロジーを融合させ、イノベティブな事業を継続的に生み出し発展させてまいります。これからも、今まで以上にチャレンジし続ける会社でありたいと考えています。今後とも、変わらぬご支援とご声援をよろしくお願い申し上げます。

能登半島地震 義援金寄付について

令和6年能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さまへ謹んでお悔やみを申し上げます。また、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

KADOKAWAグループでは、被災された方々の支援を目的とする役職員からの募金を行いました。集まった募金額に当社から同額を上乗せするマッチングギフトを行い、被災された自治体および日本赤十字社へ義援金として総額4,384,100円を寄付いたしました。

KADOKAWAグループ一同、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

特集

2024春～秋 注目ラインアップ(出版)

2024年度の春から秋における出版ジャンルの注目作品をご紹介します。

シリーズ累計1,400万部を超える「文豪ストレイドッグス」や、
京極夏彦氏の「巷説百物語」シリーズ完結編など見逃せない作品が揃っています。

文豪ストレイドッグス 25巻

コミック



シリーズ累計1,400万部突破! 福地と相対する福沢…世界の行く末を掛けた決闘の結末とは!? 太宰がムルソーでドストエフスキーとの頭脳戦を繰り広げる中、空港での戦いは大将同士、福沢と福地が一騎打ちを行う展開に——。2024年6月4日発売。

山田くんとLv999の恋をする 10巻

コミック



©ましろ/COMICSMART INC.

累計発行部数450万部突破(紙・電子合算)の大人気恋愛コミック最新刊。ネトゲで出会って、恋人になった女子大生・茜とプログラマーの山田。帰省した茜は幼馴染の貴也と数年ぶりに再会するが……? 2024年10月発売予定。

了巷説百物語

文芸



〈憑き物落とし〉中禪寺洲齋。〈化け物遣い〉御行の又市。〈嘘を見破る洞観屋〉稲荷藤兵衛。彼らが対峙し絡み合う、過去最大の仕掛けが幕を開ける。京極夏彦氏による妖怪時代小説の金字塔であり文学賞3冠の〈巷説百物語〉シリーズが堂々完結! 2024年6月19日発売。

時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん 9巻

ライトノベル



シリーズ累計250万部突破! ロシアンJKとの“ニヤニヤ必至”の青春ラブコメ。2021年の刊行以来、数々の販売記録と一大センセーショナルを巻き起こしたライトノベルが、2024年7月よりテレビアニメ放送もスタート! 2024年8月発売予定。

ニチレイフーズの広報さんに教わる
冷凍作りおきレシピ、これが正解です!

実用書



テレビの情報番組でも話題のシリーズ第2弾。冷凍食品のプロが冷凍作りおきレシピを伝授。知っているのと得する冷凍の豆知識やアイデアも豊富。買い出しに行く時間や献立に悩む時間も減り、精神的にも救われます! 2024年6月19日発売。

どっちが強い!?

ブツとび動物オリンピック編 トンデモバトル大集合

児童書



関連シリーズ累計500万部を突破した人気シリーズ最新刊。今回は、ちょっとブキミな動物対決が大集合。「いちばんくさい動物は?」「ズルかしい動物は?」など、気になる対決がもりだくさん。これまで見たことがない動物バトルがついに開幕! 2024年6月12日発売。

2024夏～秋 注目ラインアップ(映像)

2024年度の夏から秋における、アニメおよび実写映像の注目作品をご紹介します。

『【推しの子】』『Re:ゼロから始める異世界生活』の新シーズンを含めたアニメや、大ヒット小説を豪華キャストで実写映画化する『六人の嘘つきな大学生』など見逃せない作品が豊富に揃いました。ぜひご覧ください。

【推しの子】第2期

アニメ



週刊ヤングジャンプで連載中の赤坂アカ×横槍メンゴの豪華タッグが全く新しい切り口で“芸能界”を描く衝撃作『【推しの子】』。待望のTVアニメ第2期が2024年7月より放送開始！

2024年7月放送開始

©赤坂アカ×横槍メンゴ／集英社・【推しの子】製作委員会

時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん

アニメ



超ハイスペックなロシアンJKとの青春ラブコメディ！原作ライトノベルが角川スニーカー文庫より刊行のTVアニメ「時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん」は2024年7月より放送開始！

2024年7月放送開始

©Sunsunsun, Momoco/KADOKAWA/Alya-san Partners

Re:ゼロから始める異世界生活 3rd season

アニメ



全世界シリーズ累計部数1,300万部突破、長月達平による人気ライトノベルが原作のTVアニメ「Re:ゼロから始める異世界生活」。待望の3rd seasonが2024年10月より放送開始！

2024年10月放送開始

©長月達平・株式会社KADOKAWA刊／Re:ゼロから始める異世界生活3製作委員会

劇場版『オーバーロード』聖王国編

アニメ



シリーズ累計1,400万部突破、丸山くがねによる大人気ノベルを原作とするアニメ『オーバーロード』。TVアニメ1～4期と劇場版総集編の大ヒットを経て、シリーズ初となる完全新作劇場版が2024年秋全国ロードショー！

2024年秋全国ロードショー

©丸山くがね・KADOKAWA 刊／劇場版「オーバーロード」聖王国編製作委員会

蛇の道

実写映像



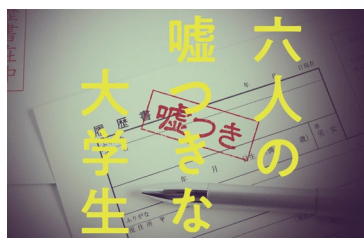
監督：黒沢清×主演：柴咲コウ 殺された愛娘の復讐に燃える男と手助けする心療内科医の女“徹底的復讐”、そしてその先に待つ真実とは——日仏共同製作で贈る、時と国境を越え辿り着く完全版<リベンジ>サスペンス>

2024年6月14日(金)公開

©2024 CINÉFRANCE STUDIOS
- KADOKAWA CORPORATION
- TARANTULA

六人の嘘つきな大学生

実写映像



2024年
11月22日(金)公開

©2024「六人の嘘つきな大学生」製作委員会

嘘つきは——誰？ 怒涛のどんでん返しにあなたも翻弄される——浅倉秋成の大ヒット小説を、浜辺美波、赤楚衛二、佐野勇斗、山下美月、倉悠貴、西垣匠、豪華キャストで映画化！ ノンストップツイストエンタテインメント！

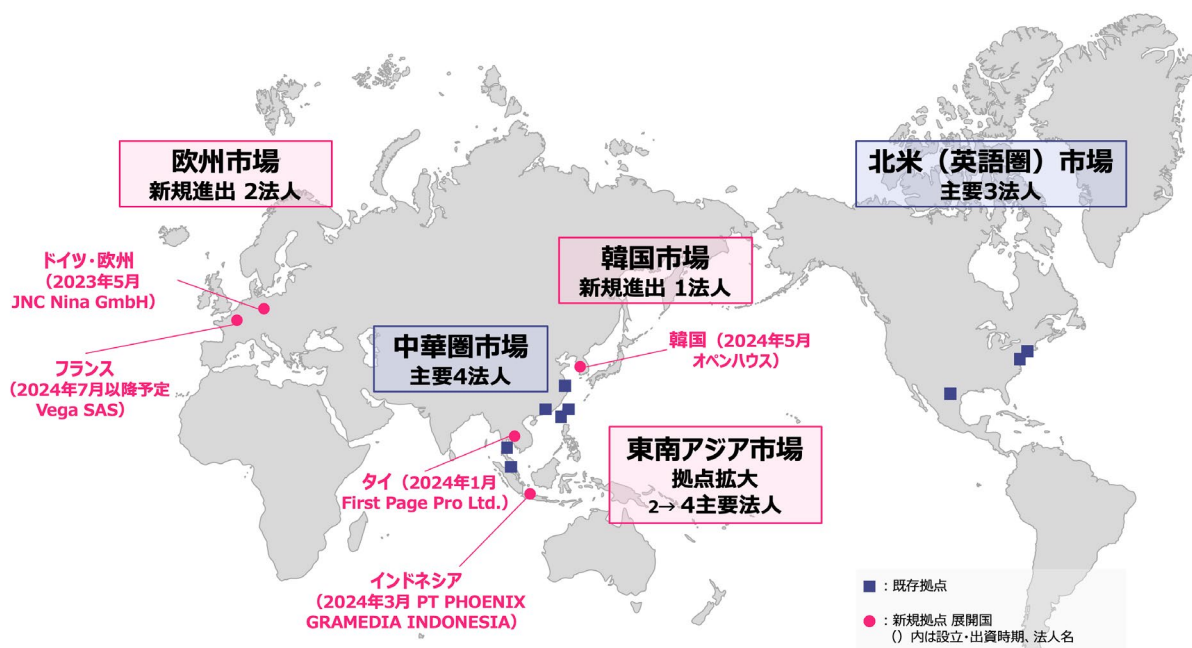
トピックス



出版・IP創出セグメントでの さらなる海外事業拡大に向けた海外拠点の拡充

KADOKAWAグループは、基本戦略である「グローバル・メディアミックス with Technology」のもと、中期経営計画の最終年度に連結海外売上高700億円の達成を目指しています。それを実現するために、出版・IP創出セグメントでは2023年から2024年にかけて、新たにドイツ、フランス、韓国、タイ、インドネシアにて

拠点拡大を進めています。これにより、コミックやライトノベルなどの日本の原作IPの海外展開を加速させるとともに、海外原作IPの作品開発および権利獲得を進め、日本を含めた世界の市場でメディアミックス展開していくことを目指してまいります。





制作力強化とクオリティ向上を目指し、 アニメーション制作スタジオ「ベルノックスフィルムズ」設立

世界的に日本アニメ人気が拡大する中、KADOKAWAグループではアニメ事業を中期経営計画における重点領域と位置付け、制作スタジオのM&Aや新設などを含む制作力の強化による、タイトル数の増加や1タイトルあたりのエピソード数増、制作クオリティの向上を戦略として掲げています。

その中で、さらなる内製力の強化のため、新たにアニメーション制作スタジオ(株)ベルノックスフィルムズ(代表取締役：梶田浩司)を2024年5月に設立しました。

(株)ベルノックスフィルムズは、(株)ゴンゾの代

表を経て(株)デイヴィッドプロダクションなどを創業した梶田浩司氏(代表作：TVアニメ『ジョジョの奇妙な冒険』シリーズ、TVアニメ『はたらく細胞』シリーズ)を中心とするアニメーション制作スタジオです。同社は、(株)ENGI、(株)Studio KADAN、(株)レイジングブル、(株)キネマシトラスに次ぐ、当社グループ5社目のアニメーション制作スタジオとなります。

今後もグループ一体でのアニメIPのラインアップ拡大を図り、中長期におけるアニメ事業のさらなる成長を目指してまいります。



ベルノックスフィルムズ公式サイト
<https://bellnoxfilms.jp/>



世界的大ヒットを記録した『ELDEN RING』のダウンロードコンテンツ『SHADOW OF THE ERDTREE』が6月21日に世界同時発売

(株)フロム・ソフトウェアと(株)バンダイナムコエンターテインメントの共同開発により2022年2月に発売され、世界的大ヒットを記録したゲーム『ELDEN RING (エルデンリング)』のダウンロードコンテンツ『SHADOW OF THE ERDTREE (シャドウ オブ ジ エルドツリー)』を2024年6月21日に世界同時発売しました。

本作では新たな舞台「影の地」での物語が描

かれ、謎と危険に満ちた多彩なシチュエーション、新たに加わった武器や防具の数々、そして自由度の高い冒険をお楽しみいただけます。

今後も、世界中のファンに、より一層長く深く遊んでいただけるよう『ELDEN RING』のLTV最大化を目指します。引き続き(株)フロム・ソフトウェアが手掛ける洗練されたゲームにご期待ください。



©Bandai Namco Entertainment Inc. / ©2024 FromSoftware, Inc.

『ELDEN RING』とは

『ELDEN RING』は、本格的なダークファンタジーの世界を舞台にしたアクションRPGです。(株)フロム・ソフトウェアの開発力と、(株)バンダイナムコエンターテインメントの海外ネットワークを駆使したマーケティング力を掛け合わせた本作は、2022年2月25日の発売から世界累計出荷本数*が2,500万本を突破しました。また、「The Game Awards 2022」をはじめとする世界の主要4大ゲームアワードやそのほか著名なアワードにて、数多くの賞を獲得しました。

* ダウンロード版およびPCゲームプラットフォーム「Steam」からのダウンロードを含みます。



『ELDEN RING』公式サイト
<https://www.eldenring.jp/index.html>



ゲームIPの創出力強化を目指し、 新たにアクワイア社を子会社化

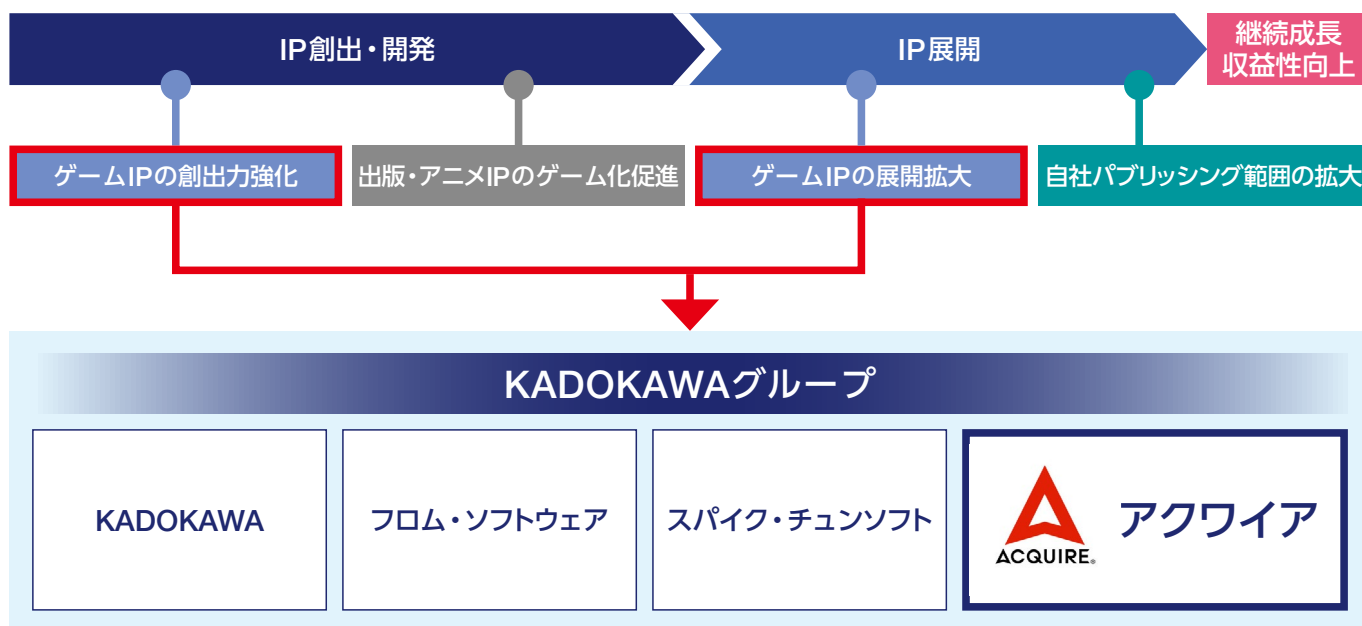
KADOKAWAグループでは、ゲーム事業を中期経営計画における重点領域と位置付け、さらなる開発力の強化に向けたさまざまな施策を検討しています。

その中で、より一層のゲームIPの創出・展開力強化を目指し、(株)アクワイアを2023年12月に子会社化しました。同社は『オクトパストラベラー』『天誅』などのミリオンヒット作品

をはじめ、家庭用ゲーム機向けのゲームIPを数多く手掛けてきた確かな開発力を有しています。

同社のグループ入りにより、当社の既存のグループ会社である(株)フロム・ソフトウェアや(株)スパイク・チュンソフトなどとの過去作品の再開発を含めたシナジー効果にも期待し、ゲーム事業のさらなる成長を目指してまいります。

■ ゲーム事業における今後の取り組み



アクワイア社概要

1994年設立。家庭用ゲーム向けにオリジナルタイトルの開発・販売、開発受託等を行う。RPGやアクションジャンルのゲームを中心に、『オクトパストラベラー』（シリーズ累計400万本超）や『天誅』など、ミリオンヒット作品を複数制作する企画力・開発力を保有。



アクワイア社公式サイト
<https://www.acquire.co.jp/>



『ニコニコ超会議2024』来場者数12万人超 1,100組超のクリエイターが多彩なパフォーマンスを披露

(株)ドワンゴは、“ネット発!みんなで作る日本最大級の文化祭『ニコニコ超会議2024』”を、2024年4月22日～28日の7日間にわたり、ネットとリアル会場で開催しました。4月27日・28日にリアルで開催した幕張メッセの会場には2日間で12万5,362人ももの来場者が訪れ、早朝から長蛇の列ができる大盛況のイベントとなりました。

今年の超会議は「ひとりのこらず主人公」をテーマに、クリエイターが自由に自己表現できるスペース「クリエイタークロス」のエリアを大幅に拡大しました。この結果、ユーザー出展者は前年の6.8倍の900組、併催イベントを含めた総出展者は1,131組に上るなど、超会議史上最大のユーザー主体型イベントとなりました。ユーザー出展ブースに加え、「ボカロ」「踊ってみた」をはじめとするニコニコ定番コ

ンテンツの各ブースなど、個性と熱意にあふれたニコニコ超会議ならではのサブカルチャーの世界観が幕張メッセ全体に広がりました。

また、(株)KADOKAWAではアニメのシチュエーションをリアルに再現し、キャラクターたちと一緒に撮影が楽しめる「Re:ゼロから始める異世界生活 バーチャルフォトスポット」や「【推しの子】ARフォトスポット」ブースのほか、今年で3年目となる“未来の書店”「超ダ・ヴィンチストア2024」の出展など、最新のDX技術を駆使したコンテンツを多数提供し、来場者の人気を集めました。

KADOKAWAグループは、今後もネットとリアルを融合したさまざまなイベントを企画・開催し、クリエイターの発掘と、多様な文化の創出・発展に貢献していきます。

**ニコニコ
超会議
2024**



ニコニコ超会議2024公式サイト
<https://chokaigi.jp/>



N/S高・N中等部に新入生 約10,000名が入学、「AI入学式」を実施

学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校およびS高等学校(N/S高)では、2024年度も新たに約10,000名の生徒(N/S高・N中等部合計)が入学しました。同校ではVRを用いた入学式を2016年から毎年実施してきましたが、今年の入学式では新たにAIも駆使し、新入生一人ひとりにカスタマイズした式辞や歓迎メッセージが送られました。また、在校生は自身のスキルを活かし、生成AIを用いた映像制作や「校歌斉唱パフォーマンス」のドローン撮影などを行い、新入生を歓迎するコンテンツを披露しました。

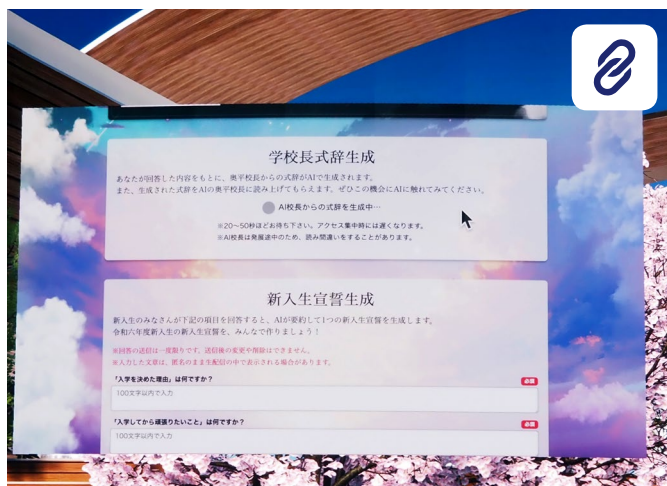
N/S高およびN中等部では、生成AIやVRによるバーチャル学習などの最新技術を活用した教材や環境を多数提供しています。これに加え、N/S高では、グローバルに活躍する人材を育成するために語学教育や留学プログラ

ム、海外進学を目指すためのサポートなどグローバル教育にも取り組んでおり、2024年の海外大学への合格数は日本で2位の実績を記録しています。

今後も、テクノロジーを用いたユニークな体験を提供するとともに、グローバル教育などの将来へつながる学びの機会を創出していきます。

また、一般社団法人日本財団ドワンゴ学園準備会は、最先端の教育を提供するオンライン大学「ZEN大学※」の2025年4月開学を目指しています。(株)ドワンゴでは同校に対しても、テクノロジーを活用した教育システムや、AI・クリエイティブを含め実践的な授業を実現するための準備を進めています。N/S高からの進学も期待され、実践力を持った人材育成へのさらなる貢献を目指していきます。

※仮称・設置認可申請中





バンタン新スクール「KADOKAWAアニメ・声優アカデミー」 「KADOKAWAマンガアカデミー」開校

クリエイティブ分野の人材育成スクールを運営する(株)バンタンは、2024年4月に「KADOKAWAアニメ・声優アカデミー」と「KADOKAWAマンガアカデミー」を開校しました。

両スクールでは、業界の最前線で活躍するKADOKAWAグループのクリエイターを講師に迎え、グループのIPやサービスを最大限に活用した授業も展開します。今後拡大が見込まれるアニメ市場およびマンガ市場においては、人材不足や制作環境のデジタル化が加速すると推測されており、両スクールは生徒に

新たな学びの場を提供するとともに、業界の発展にも寄与します。

(株)バンタンでは、このように実践力が身に付くスクールの新規設立により対象マーケットの拡大を図るとともに、既存の人気コースにおける展開地域の拡大や大学部※を設立するなど、次代を担う才能を育てる教育事業の強化を推進しています。

今後もグループシナジーを活かした授業の展開により専門性の高い人材の育成に取り組んでいきます。

※バンタンは学校教育法による設置認可を得ている大学機関ではありません。
連携している通信制大学にて大卒資格を取得します。



KADOKAWA マンガアカデミー
POWERED BY **VANTAN**



KADOKAWA アニメ・声優アカデミー
POWERED BY **VANTAN**



バンタン公式サイト
<https://vantan.jp/>

連結財務諸表(要旨)

連結損益計算書

	単位:百万円	
	2023年3月期 2022年4月1日～ 2023年3月31日	2024年3月期 2023年4月1日～ 2024年3月31日
売上高	255,429	258,109
売上原価	164,573	171,496
売上総利益	90,856	86,613
販売費及び一般管理費	64,925	68,158
営業利益	25,931	18,454
営業外収益	2,566	4,804
営業外費用	1,828	3,022
経常利益	26,669	20,236
特別利益	62	2,579
特別損失	5,379	3,121
税金等調整前当期純利益	21,352	19,694
法人税等合計	6,153	6,671
親会社株主に帰属する当期純利益	12,679	11,384

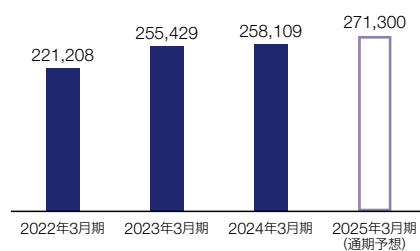
連結貸借対照表

	単位:百万円	
	2023年3月31日	2024年3月31日
資産の部		
流動資産	263,968	221,448
固定資産	118,930	118,862
資産合計	382,898	340,310
負債の部		
流動負債	128,918	97,378
固定負債	30,808	30,365
負債合計	159,727	127,744
純資産の部		
株主資本	189,783	177,964
その他の包括利益累計額	12,765	12,629
非支配株主持分	20,622	21,973
純資産合計	223,171	212,566
負債純資産合計	382,898	340,310

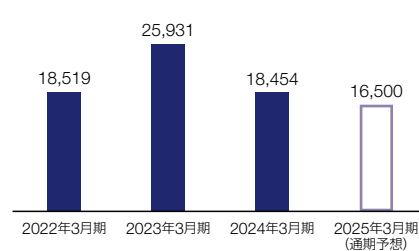
連結キャッシュ・フロー計算書

	単位:百万円	
	2023年3月期 2022年4月1日～ 2023年3月31日	2024年3月期 2023年4月1日～ 2024年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,516	8,298
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,259	3,494
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,728	△65,800
現金及び現金同等物の期末残高	131,389	79,841

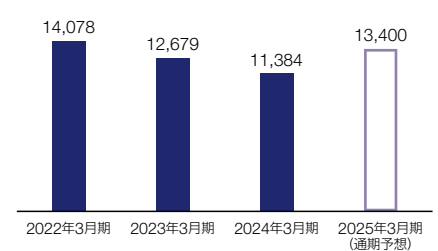
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



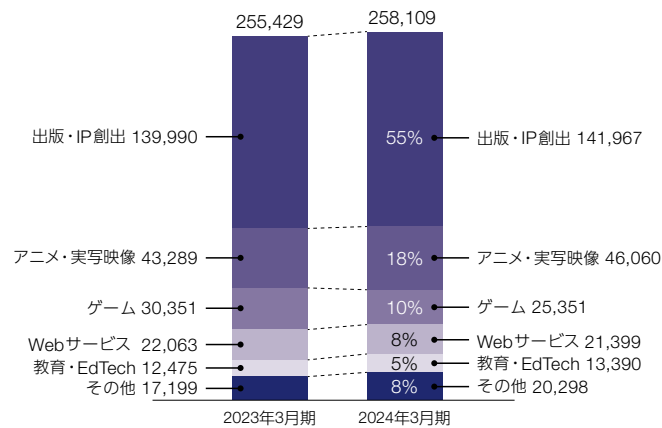
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)



セグメント別 売上高・営業利益

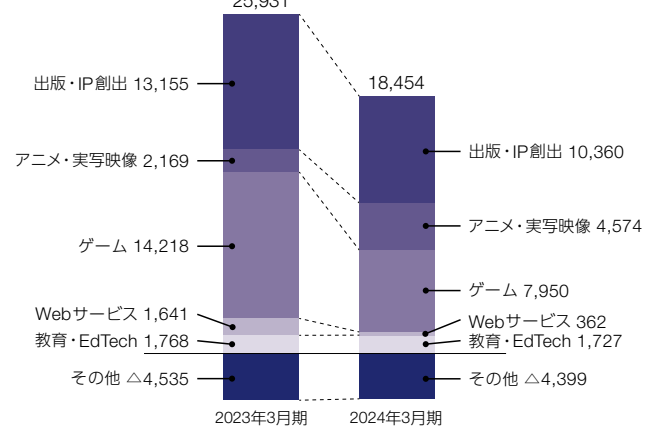
セグメント別売上高構成

(百万円)



セグメント別営業利益構成

(百万円)

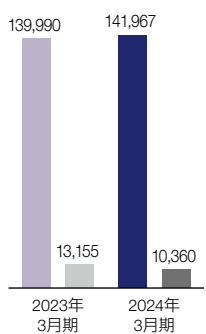


※セグメント別売上高構成比はセグメント間の内部取引を含んでおります。セグメント別売上高構成比を算出するための分母である連結売上高は同内部取引が消去されるため、セグメント別売上高構成比の合計値は100%にはなりません。

出版・IP創出事業

(百万円)

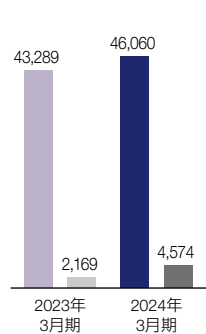
■ 売上高 ■ 営業利益



アニメ・実写映像事業

(百万円)

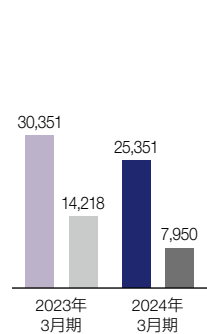
■ 売上高 ■ 営業利益



ゲーム事業

(百万円)

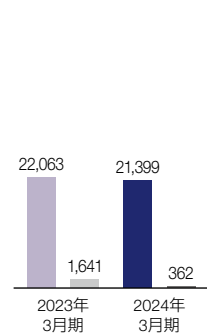
■ 売上高 ■ 営業利益



Webサービス事業

(百万円)

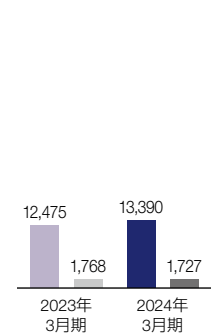
■ 売上高 ■ 営業利益



教育・EdTech事業

(百万円)

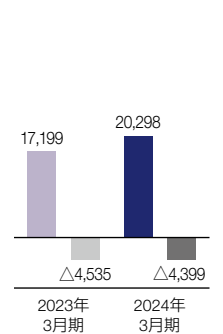
■ 売上高 ■ 営業利益



その他

(百万円)

■ 売上高 ■ 営業利益



2025年3月期通期見通し

単位:百万円

	2024年3月期 通期実績		2025年3月期 通期見通し	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
出版・IP創出事業	141,967	10,360	155,400	13,300
アニメ・実写映像事業	46,060	4,574	45,200	4,100
ゲーム事業	25,351	7,950	25,500	2,600
Webサービス事業	21,399	362	22,900	800
教育・EdTech事業	13,390	1,727	15,100	2,100
その他	20,298	△4,399	19,500	△3,300
全社・消去	△10,358	△2,120	△12,300	△3,100
合計	258,109	18,454	271,300	16,500

※2024年3月期連結会計年度より、従来「出版事業」としていた報告セグメントの名称を「出版・IP創出事業」に、「映像事業」としていた報告セグメントの名称を「アニメ・実写映像事業」に、「教育事業」としていた報告セグメントの名称を「教育・EdTech事業」に変更しています。

取締役一覧

2024年6月18日現在

取締役

夏野 剛
山下 直久
村川 忍
加瀬 典子
川上 量生
周 欣寧

社外取締役

鵜浦 博夫
ジャーマン・ルース マリー
杉山 忠昭
笹本 裕
芝 昭彦
宇澤 亜弓
マクドナルド デービット
岡島 悦子(新任)

KADOKAWAグループの事業やIR情報に関する詳細は当社グループ ポータルサイト (<https://group.kadokawa.co.jp/>) をご覧ください。



このQRコードは、KADOKAWAグループのQRコード&短縮URLサービス「QRouton」で作成しています。
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

株式の状況

基本情報 (2024年3月31日現在)

証券コード	9468
銘柄	株式会社KADOKAWA
発行可能株式総数	520,000,000 株
発行済株式数	141,784,120 株
株式の売買単位	100
上場取引所	東京証券取引所プライム市場

株式事務の概要

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。また、下記ホームページでもご案内しておりますのでご利用ください。
<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>
- なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 会社法の改正により、2023年6月開催の定時株主総会より、電子提供制度が実施されました。電子提供制度が実施されますと、株主総会の議決権行使に関する情報は、当社のホームページをご覧いただくことになります。なお、招集通知を従来通り、書面でお受け取りになりたい場合は、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)もしくは口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)へお申し出くださいますようお願い申し上げます(定時株主総会の基準日である3月末までに手続きを完了させる必要がございます)。